

市長タウンミーティング概要

会 場	中新田コミュニティセンター
開催日時	令和8年2月22日（日）10：00～11：15

市長との意見交換

①	
質 問	マンション耐震改修に対する助成制度の創設を求める。
回 答	一般の戸建住宅に対する耐震化の補助制度については既に実施している。集合住宅に対する補助については現在制度化を進めているところである。担当にも指示をして、進めているので安心いただき、制度ができ次第、利用いただければと思う。制度利用の第1号になってもらえると、こちらとしてもうれしく思う。

②	
質 問	サッカー場設置の進捗状況について伺いたい。 また、整備する場合にはスタジアムの位置を3メートル程度土盛りし、相模川氾濫時等の避難場所として活用できるようにしてもらいたい。
回 答	相模川の家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）について、ハザードマップが訂正された。今までの被害想定が大きく緩和される形となっている。 スタジアムの場所や進捗については、民間の事業であるため、答えられる立場にない。避難場所としての活用については、先方より災害時の活用を提案されているところなので、必要な対応がなされた施設が整備されるものと認識している。

③	
質 問	<p>保育園について定員を増やしていただけるとのことだが、保育園に入れたとしても、その後の学童も足りていない状況である。学童に入れないと仕事を失う現実がある。ぜひとも学童の受け入れ枠を増やしていただきたい。</p> <p>また、学童の費用負担が非常に重い。他の全国平均と比べると倍以上かかっている。</p> <p>そんな中で夏休み期間を長くするという連絡を先日いただいた。学童を諦めて、留守番をさせようかと思っていたところで、そのような連絡が入りショックを受けた。学童や受け入れ施設を探す必要が出てくるような重要な内容は、遅くとも実施する1年前までには連絡するようにしてほしい。</p>
回 答	<p>将来的な少子化の進行を踏まえると、学童保育は容易に新設又は増加ができるものではなく、慎重に判断する必要がある。保育士資格取得者は一定数いるものの、処遇改善のみでは人材確保が困難であり、職員の精神的負担も課題。</p> <p>本市は学童について民設民営で進めてきた。現在市内には70を超える学童がある。夏休みの学校開放やあそびっ子クラブ等の既存事業の拡充も1つの支援となると考えている。これから迎える人口減少時代を見据えた対応を検討していくことが非常に難しく、課題だと思っている。市として最重要課題の1つであると認識しており、1歩ずつ進めているところであるので、その点をご理解いただきたい。</p>

④	
質 問	<p>市街化区域への編入についてどのようなスパンで考えているのか。</p> <p>また民間開発、土地区画整理事業といった手法があると思うが、どのような手法を考えているのか。現時点での考えがあれば教えていただきたい。</p>
回 答	<p>先日2回目の意向調査を実施した。保留区域は4か所あり、それぞれで地権者の反応は異なっている。地権者の意向が固まる等、進められるところから、どんどん進めていきたいと考えている。</p> <p>人口減少の関係もあるので、10年は待てないと考えている。</p> <p>一定程度道路が整備されている場所については、民間の力を活用した開発が望ましく、逆に基盤整備から行う必要があれば国や市の補助を受けて進める土地区画整理事業等を検討していくのも1つである。地権者の意向を踏まえた中で、どのような手法が良いのか検討を進めていきたい。</p>

⑤	
質 問	<p>丸田地区の整備が進む中で、厚木駅の位置を丸田地区に寄せる形に変えてはどうか。また、丸田地区側に改札を設ければ、人の流れが良くなるのではないか。</p>
回 答	<p>厚木駅の移設は困難である。駅と駅の距離が変わることを鉄道会社は非常に嫌がる。周辺の飲食店からも反対されることが想定される。駅の位置については鉄道会社に委ねられており、市が移設できるものではないので、ご理解いただきたい。</p>

⑥	
質 問	<p>小中学校統合についてどのような考えなのか伺いたい。</p> <p>災害対応等を踏まえ、市内在住職員が増えることが望ましいと思う。市内在住職員に手当を付けるなど検討していただきたい。</p>
回 答	<p>令和6年に改訂した再整備計画では、今後40年を整理しつつ、小学校は現在13校を7校へ、中学校は6校を5校へ再編する方向で検討した内容。その先にある長期像は、児童生徒数の増減状況に応じた計画の適宜見直しが必要と考えている。学校間で児童・生徒数の差に開きがあるため、必要に応じて市の事務職員を派遣して、サポートを行っている。</p> <p>小中高の一貫校についても検討を進めていきたいと考えており、県にも話をさせてもらっている。</p> <p>市内在住職員の確保案として、住居手当の増額を実施しているが、市内市外で大きく差を設けることは望ましくないという考え方もあり、難しいところだと認識している。</p>